

議長選挙に係る所信表明会会議録

令和3年5月19日

議 場

令和3年5月19日

午後1時58分開会

午後2時2分閉会

○議長選挙所信表明

1 古泉幸一議員

以上のとんまつは会議録のとおりであるので署名する。

議会運営委員長

佐藤 耕一

○佐藤耕一 議会運営委員長 ただいまから、議長選挙に係る所信表明会を開会します。(午後 1 : 58)

私は、本会の進行を務めさせていただきます、議会運営委員長の佐藤耕一です。どうぞよろしくお祈いします。

それでは、議長選挙に係る所信表明を行っていただきます。

所信表明申出書が 1 名の方から提出されました。所信表明は演壇で行っていただきます。なお、お時間はおおむね 5 分の範囲内でお祈いします。

それでは、古泉幸一議員にお祈いします。

なお、推薦議員は、皆川英二議員です。

(古泉幸一議員 登壇)

◆古泉幸一 議員 この場で、通常は執行部に対しお話をするのですが、このように先輩・同僚議員に対して話す機会などそうそうあるものではありませんので、少しだけ私の考えを述べさせていただきます。

このたび、伝統ある新潟市議会議長選挙に手を挙げさせていただきました。このような重責に立候補するには、それなりの覚悟を持って臨まなければならないものだと感じています。

まず、議会が最優先に掲げなければいけないことが、当然コロナ対策であると思います。昨年 2 月 29 日に、我が市において最初の感染者が出て 15 か月、市民の命や安全を脅かし、社会生活をずたずたに引き裂いてしまいました。議会として、行政のチェック機能で終わらず、市民と直接接する機会が多い市議会議員が、積極的に市議会として政策提案することなどが、今後は求められてくるんだろうと思います。

市議会は議論をする場であります。賛成、反対様々な意見を議論することは重要で、相手の意見を邪説と捉えず、しっかりとリスペクトし、意見し合える議会、それこそが市議会の望ましい姿だと思っています。そうなるようにしっかりと努力をしていきます。

それと同時に、時代に合わせた市議会となるよう実行していきたいと考えています。例えば、議会改革推進会議で議論を重ねている、議会におけるタブレットの導入などで、紙資源の減量はもとより、より有意義な議論が重ねられるのなら、積極的に導入すべきと考えます。また、常任委員会での積極的な議論ができるよう、多様化する子供行政に対応するためにも、常任委員会の在り方の検討も急ぐべきだと考えています。

議会で議論を重ね、深めることで、より市民に寄り添える市議会になるのではと強く確信しています。ぜひ、ここにいる多くの議員各位から御賛同いただければ幸いです。

私、古泉幸一でいいと御判断いただいて、名前を書いていただく際には、私、古泉は古い「古泉」でして、間違っって小さな「小泉」と書くと違う方に票が行ってしまいます。また、「こういち」という名前も私を含めて 2 人おりますので、お間違いのないようにしていただければ大変うれしいと思います。最後、そこだけを強調して、所信の表明といたします。ありがとうございました。(拍手)

○佐藤耕一 議会運営委員長 以上で、議長選挙に係る所信表明会を終わります。(午後 2 : 02)